



2020年4月17日

各位

会社名 nms ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小野 文明
 (コード: 2162 東証 JASDAQ)
 問合せ先 取締役コーポレート本部長 河野 寿子
 (TEL: 03-5333-1711 (代表))

2020年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2019年5月10日公表の2020年3月期通期（2019年4月1日～2020年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 2020年3月期通期 連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 72,000	百万円 1,300	百万円 1,000	百万円 850	円 銭 49.53
今回修正予想 (B)	62,700	915	545	295	17.18
増減額 (B-A)	△9,300	△385	△455	△555	
増減率 (%)	△12.9	△29.6	△45.5	△65.3	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	57,759	548	569	415	24.22

2. 修正の理由

当期の需要は全体として概ね堅調に推移していましたが、期後半に入り国内顧客の減産や海外生産の計画後ろ倒しなどによる影響が顕著となりました。経常利益においては海外子会社への貸付金に対する期末日評価替えによる為替差損等を計上する見込となり、当期純利益は、経常利益の減に加え、第3四半期累計期間にたな卸資産廃棄損を計上したこと等もあり、予想を下回る見込です。

一方、前期に対しては、売上高は伸長、営業利益も大幅増加となる見込です。

当社は、将来の成長に向けた事業規模の拡大と基盤強化、この両輪による施策を実行しています。当期はEMS事業におけるベトナム、メキシコ拠点の立ち上げを行うとともに、HS事業、PS事業の体質強化策実行を進めました。

今後も経済環境はさらに不透明感を増していく様相ですが、取り組みの成果を発現させるべく、施策実行のスピードを加速させてまいります。

以上

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。